

東海大学文明研究所・東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター共催

2021年度

アンデス・コレクション研究懇談会

東海大学文明研究所は、1900点以上に及ぶ日本で最大級のアンデス・コレクションを所蔵している。現在、東海大学マイクロ・ナノ研究開発センターと共同でコレクションの文理融合研究、さらに学内外の垣根を超えた共同研究が進められている。また、この貴重な資料をいかに教育や社会還元結び付けていくかを考え、地域社会との結びつきも模索している。2020年度から始まった懇談会は今回で3回目を数え、X線CT装置を使用した土器分析、ハンドヘルド3Dスキャナを使用したアンデスの人々の顔の研究、科学実験によるガラスビーズの由来と年代に関する研究などから、アンデス文明を多面的に解明する企画となっている。先駆的学際的な研究が不断に実施されているが、これまでの成果を報告するとともに、懇談会で研究者が一堂に会しディスカッションをする場を設け、今後の大学コレクションの活用法を模索していきたい。

日時: 2021年10月23日(土)10:30~15:30

場所: Zoomによるオンライン配信と東海大学湘南校舎12号館1階MNTCコミュニケーションスペース

(発表者を除く参加者は原則オンライン参加となります。)

プログラム

開場 10:15 開会 10:30

10:30 開会挨拶 東海大学文明研究所 所長 山本和重 (文学部歴史学科 教授)

10:40 「X線CTでみるワウラ様式の土器成形」

発表者 市木尚利 (立命館大学環太平洋文明研究センター・プロジェクト研究員)・吉田晃章 (文学部文明学科 准教授)・栗野若枝 (TICAR 技術員)

11:10 「3Dスキャンによるアンデスの人々の「顔」のデータ化」(仮)

発表者 松前ひろみ (医学部基礎医学系分子生命科学 助教)・今西規 (医学部基礎医学系分子生命科学 教授)・鴨下真由 (文学部歴史学科考古学専攻4年)

11:40 ディスカッション (午前の部)

12:00 休憩

13:00 「平塚盲学校における笛吹きボトルワークショップに関する報告①」

発表者 篠原聰 (課程資格教育センター 准教授)・真世土マウ (岡山県立大学デザイン学部 准教授)・広瀬浩二郎 (国立民族学博物館 准教授)・亀井岳 (FLYING IMAGE 代表)・吉田晃章

13:30 「ナスカ文化の骨製縦笛の分析—年代測定と形態分析から—」(仮)

発表者 吉田晃章・江田真毅 (北海道大学総合博物館 准教授)・松前ひろみ・栗野若枝

14:00 「笛吹きコップの成形と構造研究」

発表者 真世土マウ・鶴見英成 (東京大学総合研究博物館 助教)・吉田晃章

14:30 「アンデス・コレクション内のガラスビーズ—型式、分析と復元実験から製作地を探る—」

発表者 山花京子 (文化社会学部アジア学科 准教授)・秋山泰伸 (工学部応用化学科 教授)・佐藤正志 (工学部応用化学科 教授)・阿部善也 (東京電機大学工学研究科物質工学専攻 助教)・村串まどか (筑波大学人文社会系 学振PD)

15:00 ディスカッション (午後の部)

15:25 閉会挨拶 東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター 所長 喜多理王 (理学部物理学科 教授)

15:30 閉会

※敬称略・発表者重複は初出のほか所属省略

参加申し込み方法

リンクかQRコードから登録画面にアクセスし、必要事項をご記入いただくことで、参加申し込みいただけます。登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。当日はメールに記載されたURLからアクセスしてください。 リンク↓: QRコード →

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZwrcuisqz4tEtT7YGaKPauGcjHTtA6Mm04>

連絡先 東海大学文明研究所 東海大学湘南校舎平塚市北金目4-1-1
電話 0463-58-1211 内線 4902 (10月11日以降 内線 4426)

